

各 位

公益財団法人 鳥取県建設技術センター
代表理事 岡 本 正 文



コンクリート構造物の補修技術研修の開催について（通知）

当センターでは、技術者を対象とした「コンクリート構造物の補修技術研修」を下記のとおり開催します。

つきましては、受講希望の方は、別添「実施要領」を熟知の上、別紙「コンクリート構造物の補修技術研修申込書（様式1）」に必要事項等を記入し、添付書類を添えて、当センター建設支援課(2F)に申込みをしてください。

申込みの受付は 5月7日（水）9時から5月23日（金）17時までです。

受講生は先着30名程度とし、原則各社1名のみとさせていただきますので、ご了承ください。

ただし、受講の申込みが30名に満たない場合を想定して、事前の受け付けは各社複数名までの申込みを受付けますので、複数名の申込みを希望される場合には、研修申込者に優先順位を記載してください。また、各社1名のみでは定員に満たない場合、募集定員までは申込み先着順に各社の申込みの順位2位者を優先とします。

なお、別添「実施要領」のとおり、学科研修終了時に学科試験を行い、合格者のみ実習・現場研修に参加できることにしておりますのでご了承ください。

記

- 1 日 時 (学科研修) : 平成26年 5月27日(火)～ 5月29日(木)
(実習・現場研修) : 平成26年 6月17日(火)～ 7月24日(木)
- 2 内 容 学科研修及び実習・現場研修（継続学習制度（CPDS）に申請予定）
- 3 対象者 「土木一般」の格付けを有する鳥取県内に本社を置く建設業者の職員
- 4 目 的 コンクリート構造物の補修技術の高度な技術の修得
- 5 受講料 学 科 研 修 : 10,300円
実習・現場研修 : 113,150円
- 6 その他 検定試験合格者には、当センターが発行する「コンクリート構造物補修技術検定試験合格者証」が与えられ、鳥取県が発注するコンクリート構造物の補修工事の入札参加資格（工事の実績を有する者）として認められることになっております。
また、この研修は、平成28年度の研修をもって終了とさせていただきます。

連絡先 : 建設支援課 宮 脇 泰 一 郎
TEL0858-26-6324 FAX0858-26-6004

コンクリート構造物の補修技術研修実施要領

- 1 目 的 今後、需要の増加が見込めるコンクリート構造物の補修工事に対し、県内建設業者の施工能力の拡大を図るため、県内建設業者の職員を対象に、コンクリート構造物の補修技術の高度な技術を修得することを目的とする。
- 2 期 間 学 科 研 修：平成26年 5月27日(火)～ 5月29日(木) の3日間
及び 実習・現場研修：平成26年 6月17日(火)～ 7月24日(木) の18日間 (各週(火)～(木))
時 間 (実習・現場研修 合計18日間)
間： 10時～16時まで
・初日受付は 9時55分まで (時間厳守)
- 3 対 象 者 「土木一般」の格付けを有する鳥取県内に本社を置く建設業者の職員で、かつ「技術士」または「一級土木施工管理技士」の資格を取得後5年以上のコンクリートに関する実務経験(主任技術者または現場代理人)を有する技術者としてします。
- 4 募集人数 学 科 研 修： 30名程度とし、応募者多数の場合には先着順とします。なお、受講の申込みは各社1名としますが、応募者が30名に満たない場合を想定して、事前の受付けは各社複数名までの申込みを受付けますので、複数名の申込みを希望される場合には、研修申込者に優先順位を記載してください。また、各社1名のみでは定員に満たない場合、募集定員までは申込み先着順に各社の申込みの順位2位者を優先とします。

実習・現場研修： 学科研修終了後に、試験を行い、その試験の結果で一定のレベルに到達したものが受講できることとします。
- 5 申込受付 学 科 研 修： 5月7日(水) 9時から 5月23日(金) 17時まで
当センター建設支援課(2F)にて受付
実習・現場研修： 合格通知の日から 6月10日(火) 17時まで
当センター建設支援課(2F)にて受付
- 6 場 所 学 科 研 修： (公財)鳥取県建設技術センター
(建設情報プラザ2F技術支援ホール)
倉吉市福庭町2丁目23番地
電話 0858-26-6324 (技術支援室)
実習・現場研修： (公財)鳥取県建設技術センター及び県内施工場所
- 7 受 講 料 ① 学 科 研 修： 10,300円(税込)
② 実習・現場研修： 113,150円(税込)
③ 申込み時に学科研修受講料を現金にて、当センター総務研修課(1F)へお支払い下さい。なお、実習・現場研修受講料については、学科試験合格者のみとし、実習研修開始までに、現金(振込可)にて当センターにお支払い下さい。
④ 受講料は原則返還いたしません。ただし、研修の2日前の午後5時までに申込みを取り下げた場合で、真にやむを得ない場合には返還いたします。
- 8 使用テキスト 「これから始めるコンクリート補修講座」(日経BP社発行：¥2,940)
受講者にて用意願います。(日経BP社読者サービスセンター発売：0120-21-0546)

- 9 持参品 学 科 研 修： 筆記用具、上記8のテキスト
実習・現場研修： ヘルメット、作業服、長靴、軍手、筆記用具、上記8のテキスト
- 10 研修内容 別紙カリキュラムのとおり
- 11 検定試験 研修終了後、検定試験を実施します。
なお、検定試験はコンクリート診断士試験と同程度とします。
- ① 学科試験： 5月29日(木)(PM)
学科試験合格者は、実習・現場研修に参加できます。
- ② 実習・現場研修試験は、実技検定試験及び記述式試験にて行います。
なお、実技検定試験は、実技研修の各段階において行う段階確認試験とします。
段階確認試験に不合格の場合には、補講（実費相当額/回）を受け合格した場合に次の段階に進むことができます。
また、記述式試験は、実習・現場研修最終日の7月24日(木)(AM)に行います。
- ③ 検定試験合格者には、当センターが「コンクリート構造物補修技術検定試験合格者証」を発行します。
- 12 その他 当センターが発行する「コンクリート構造物補修技術検定試験合格者証」を有する者は、鳥取県が発注するコンクリート構造物の補修工事の入札参加資格（工事の実績を有する者）として認められることになっております。

平成26年度 コンクリート構造物の補修技術研修カリキュラム

研修の日程は次の通りとする。

学 科： 3日間 5月27日(火)～5月29日(木)

実 習:11日間 6月17日(火)～6月19日(木)、6月24日(火)～6月26日(木)、7月 1日(火)～7月 3日(木)、7月 8日(火)～7月 9日(水)

実技試験： 6日間 7月10日(木)、7月15日(火)～7月17日(木)、7月22日(火)～7月23日(水)

論文試験： 1日 7月24日(木)

計 21日間

研修場所	科目	内 容	日 程																									備 考
			実日数	1				5				10				15				20				25				
センター	学科	維持管理の基本	1日	■																								
		調査・診断の基本	1日		■																							
		評価・判定・対策	0.5日			■																						
		終了試験	0.5日				■																					
センター 又は 実構造物	実習	点検・調査・診断について	1日				■																					
		構造物のひび割れ点検・調査・診断	1日					■																				
		補修現場見学	1日						■																			
		表面被覆	1日							■																		
		ひび割れ注入	1日								■																	
		表面被覆・ひび割れ注入	1日									■																
		炭素繊維シート・プレート接着	1日										■															
		ひび割れ注入	1日											■														
		橋梁の点検・調査・診断	1日												■													
		橋梁の評価・判定・対策	1日													■												
		ひび割れ注入・表面被覆	1日														■											
センター	検定試験	実技試験（ひび割れ注入、表面被覆）	3日													■	■	■										
		実技試験（炭素繊維シート、表面被覆）	3日															■	■	■	■							
		論文試験	1日																				■					
記事																												

コンクリート構造物の補修技術研修申込書

所在地	〒
会社名	
代表者名	印
電話番号	
ファクシミリ番号	

平成 2 6 年 5 月 2 7 日 ~ 5 月 2 9 日開催の学科研修に下記の者を申込みます。

役職名	氏 名	写 真
優先順位		

なお、技術士または一級土木施工管理技士資格を有し、コンクリート施工業務に 5 年以上従事していることを証するため、下記の書類(コピー)を提出します。

記
添 付 書 類
建設業の許可証の写し
技術士または一級土木施工管理技士資格証の写し
コンクリート施工業務に主任技術者または現場代理人として 5 年以上
従事したことを証するもの (様式 2)

添付書類③のコンクリート施工に関する実務経験とは、以下の(1)～(5)とします。

- ' (1) 橋梁上、下部工（P Cを除く）
- ' (2) トンネル覆工
- ' (3) コンクリート砂防堰堤
- ' (4) コンクリートダム
- ' (5) その他
 - ア 5 m以上の鉄筋コンクリート擁壁（プレキャスト製品は除く）
 - イ 内空断面が2.5 m²以上の鉄筋コンクリートカルバート類
 - ウ 高さが3 m以上の堰、水門、樋門

書式は特に問いませんが、確認を必要とするため下記の実務経験報告書を参考に提出してください。

様式 2

実務経験報告書

受講者名 _____

工事名・工事場所	発注機関	工事期間	工種	役職名 (主任技術者・現場代理人等)

以上の内容に相違ないことを証します。

平成26年 月 日

会社名 _____

代表者名 _____ 印